

農地を守る

農地・水・環境保全向上対策事業の取り組み

自分たちの住む集落を守るため、農地を含めた環境を良くする活動が、農地・水・環境の事業をきっかけに各地で行われています。今回は、大安町の「平石地区農地を守る会」の活動を紹介します。

平石地区農地を守る会 (大安町平塚・石樽下地区)

※平塚と石樽下2つの自治会が一緒になって活動している組織です。

花壇づくり(環境美化活動)



きれいになりますように

4月中旬に、守る会役員と両地区の老人会約25人が参加して、両ヶ池の道路沿いの駐車スペース横にある花壇を整備して花を植えました。植えた後も定期的に老人会で手入れをしています。

また、8月には両地区の子ども会約20人がゴミ拾いをしました。以前はごみのポイ捨てもたくさんありましたが、最近では少なくなってきました。今後も周辺をきれいにし、看板を立てることで環境美化を呼びかけていきます。



看板で呼びかけ

そばの栽培

地区内にある三里小学校の2年生とそば作りに取り組みました。9月上旬に地区の農家組合の方と一緒に種まきをし、約3,300m²の田で栽培しました。子どもたちは収穫後、そば打ちを体験し、みんなで試食しました。



咲きそったそばの花



コスモスの中の水車小屋

このほか、小学校近くの転作田でコスモスの種まきも行い、学校からみごとに咲きそった花を見ることができました。また、学校の教材として活用できるように、コスモス田の中にある水車を修理して昔の農業の姿のひとつを再現しました。

今後も継続して環境美化活動や施設の維持管理を行い、地域のみなさんや小学校と連携し、地区内の田や環境に関心を持ってもらえるよう、活発な活動をしていきたいと思っています。

☎ 藤原庁舎 農村整備課 ☎ 46-6304 ☎ 46-6319

編集後記

ゴールデンウィーク恒例の『いなべたんまつり』(P10-11掲載)。昨年に引き続き、さまざまなイベントが企画されています。その中でも、ヴォーカルユニット「ユナイト」のステージが5月3日にあります。

実は、私、このぼたんまつりからこのグループの大ファンになり、何度か関西まで足を運び、男女混声のアカペラコーラスならではのハーモニーに魅了されているひとりです。また、リードボーカルのshiho(しほ)さんはいなべ市(員弁町)の出身です。メジャーデビューに向け頑張っているそうで、これからも応援していきたいと思っています。みなさんも、この機会に、素敵な歌声を聴いてみませんか？



生活情報「まいめる」QRコード



モバイルサイトQRコード



いなべ市ホームページ(携帯電話用)QRコード

記事にあるQRコードは一部の携帯電話でご利用になれない場合があります。

いなべいきいきマイタウン

いなべブランドに弾み

「全国そば優良生産表彰日本麺類業団体連合会長賞」受賞
藤田克己さん(藤原町)

3月13日、東京の日本教育会館で、全国蕎麦協会 谷垣禎一氏(衆議院議員)出席のもと表彰式が行われました。

藤田さんは、猿の被害が大きい大豆に代わるものとして、ソバの作付けを4年前から行っています。昨年度の生産面積は、

20haを超え20tの収穫がありました。販売先は、主に手打ち蕎麦屋さんで名古屋市内8割、神戸市・津市に2割出荷。さまざまな工夫と手間隙をかけ、高品質のソバ(全国ベース農林規格3等以上A級品)が出荷できるようになりました。販売先からも「これならいける」と評価を受けています。この品質にこだわったソバづくりが認められ、今回の受賞となりました。

平成20年度全国そば優良生産者



右が藤田さん

情報提供：農業振興課

発行 / 〒511-0293 いなべ市員弁町笠田新田111番地 ☎ 0594-74-5820 ☎ 0594-74-5821

編集 / 企画部 広報秘書課 <http://www.city.inabe.mie.jp/>

平成21年3月31日発行 Vol.65